ペーパー版
地域と農政を結ぶ
埼玉地域情報ネットワーク
彩ねっと
平成31年
Vol.32
H31. 4. 9
関東農政局
埼玉県拠点

平成３１年度の新たな地区担当者をご紹介します！

～県内各地を回り現場と農政を結びます～

関東農政局埼玉県拠点は、「農林水産業・地域の活力創造プラン」や新たな「食料・農業・農村基本計画」に基づく農政改革を着実に推進するため、県内各地を回り農政についての説明や相談等に対応しています。農政全般に関する総合窓口として、県・市町村・ＪＡ等と協力して農政課題に取り組んで参ります。

太田地方参事官
（埼玉県担当）

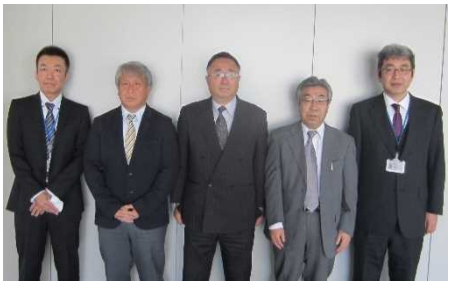
＜新任のご挨拶＞

平成３１年４月１日付けで地方参事官（埼玉県担当）を拝命しました太田　孝弘（おおた　たかひろ）と申します。

私ども、関東農政局埼玉県拠点は農業者の方をはじめ、関係機関・団体の皆様にお会いするなど、各種事業や施策の遂行を積極的に支援・推進して参りました。これからも、現場の皆様との信頼関係の構築と現場の生の声のくみ上げ、農政施策に活かせるよう奮闘して参ります。

現場の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

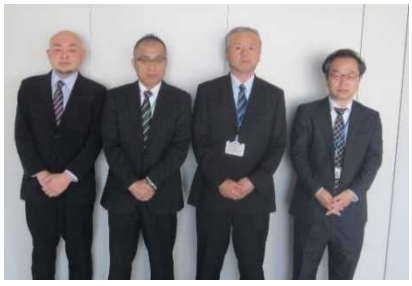
東部地区担当



さいたま市、川口市、草加市、蕨市、戸田市、八潮市、三郷市、吉川市、越谷市、春日部市、幸手市、白岡市、蓮田市、久喜市、加須市、羽生市、行田市、松伏町、宮代町、杉戸町

中部地区担当

志木市、朝霞市、新座市、和光市、富士見市、ふじみ野市、所沢市、入間市、狭山市、川越市、飯能市、日高市、鶴ヶ島市、坂戸市、東松山市、三芳町、毛呂山町、越生町、川島町、吉見町、鳩山町、嵐山町、滑川町、小川町、ときがわ町、東秩父村



北部地区担当

熊谷市、深谷市、本庄市、秩父市、寄居町、美里町、上里町、神川町、長瀞町、皆野町、横瀬町、小鹿野町

彩の国　農業人

～新規就農から積極的に規模拡大、６次産業化で無添加の漬け物、青なすのサブレを製造・販売～　　サトルファーム

本庄市で、露地野菜を栽培し、規模拡大しながら６次産業化にも積極的に取り組むサトルファーム代表の大塚悟さんをご紹介します。

サトルファームの大塚悟さん

サトルファームは、本庄市で露地野菜の生産・販売を行う農園です。代表の大塚悟氏が 30 代の頃、一生できる仕事として、自分が好きな食べ物に関係する農業の道に進むことを決意し、県の農業大学校を卒業後、就農しサトルファームを立ち上げました。祖父は営農していましたが、父の代からは非農家で、貸していた農地 50ａを、大塚代表の農業大学校卒業と同時に返却してもらい営農を開始。その後、経営規模を拡大し、現在は約３ha の農地で露地野菜（ねぎ、なす、とうもろこし、ブロッコリー等）を栽培しています。

出荷前の「本庄美人ねぎ」

本庄市は日照時間が長く、１年中農作物を栽培できることが強みと大塚代表。サトルファームでは、ねぎやなす、とうもろこしなどの農作物を組合せ、１年を通じて生産・出荷ができるようにスケジュールを組んでいます。

また、６次産業化にも積極的に取り組み、「農家の家庭料理をおすそわけ」をコンセプトに、就農当初からの栽培品目である白菜やねぎなどを使い、添加物は一切使用せず、自身で漬け込んだキムチ（商品名「おさるキムチ」）の製造・販売に加え、埼玉県の伝統野菜である青なすを原料に、深谷市の漬物業者と連携して製造した青なすのみそ漬・なら漬を JA の直売所などで販売しています。これらの漬物は、埼玉県の「埼玉ふるさと認証食品」の認定を受けており、人気商品となっています。更に、青なすのみそ漬・なら漬を練り込んだサブレを開発しました。青なすのサブレは、JR 本庄駅構内の本庄市インフォメーションセンターや JA の直売所などで購入することができます。

大塚代表は、農園の商品を PR するため、県庁前で開催される朝市への出店や埼玉県農商工連携フェアにも積極的に出展しており、新たな販路の開拓にもフットワーク良く取り組んでいます。

就農以来、作付面積を増やしながら、６次産業化にも積極的に取り組み、経営規模を拡大してきた大塚代表は、サトルファームの法人化も検討中とのこと。更なる規模拡大や新たな商品開発など、前向きな挑戦を続けている大塚悟さんは、地域の担い手として歩みを進めています。

埼玉県の農商工連携フェアにも積極的に出展

編集：関東農政局　埼玉県拠点

〒330-9722　さいたま市中央区新都心 2-1　さいたま新都心合同庁舎２号館
TEL 048-740-5835　FAX 048-601-0510
＜関東農政局ＨＰ＞　http://www.maff.go.jp/kanto/